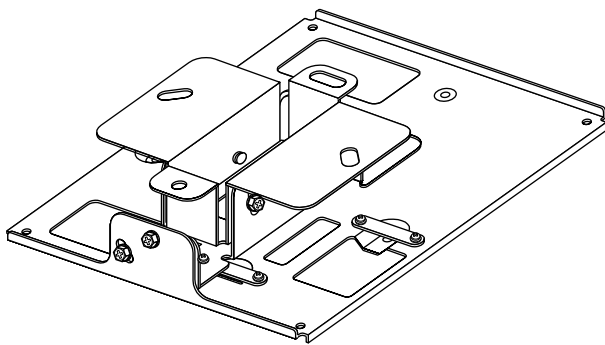


## 工事説明書

DLP™方式プロジェクター用天つり金具（低天井用）

品番 **ET-PKD35S**



対応プロジェクター品番：TH-D3500

### もくじ

安全上のご注意 .....	2
本機の構成 .....	3
取り付け工事寸法 .....	4
取り付けかた .....	5
・スクリーンの取り付け .....	5
・アタッチプレートの天井への取り付け .....	6
・プロジェクターへの金具の取り付け .....	8
・プロジェクターのつり下げ .....	9
設置角度の調整方法 .....	9
ゆれ防止ワイヤーの取り付けについて ... 裏表紙 仕様 .....	裏表紙

このたびは、パナソニックプロジェクター用天つり金具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書をよくお読みのうえ、工事の専門技術者が工事を行ってください。

この説明書は、必ずお客様にお渡しください

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。



**警告**

■ 工事の専門技術者以外は取り付け工事を行なわない



工事の不備により、大きな事故の原因となります。

禁止

■ 天つり金具のねじは、不用意に取り外したり、ゆるめたりしない



プロジェクターが落下して、けがの原因となります。

禁止

■ 強度の不足する場所に取り付けない



天つり金具が落下して、けがの原因となります。

禁止

■ 取り付け作業は足場の安全を確保して行なう



倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 取り付け場所の構造、材質に合った工事を行なう



工法を誤ると天つり金具が落下してけがの原因となります。



**注意**

■ プロジェクターの吸・排気をさまたげる場所に取り付けない



火災の原因となることがあります。

禁止

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱の発生する所に取り付けない



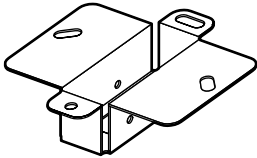
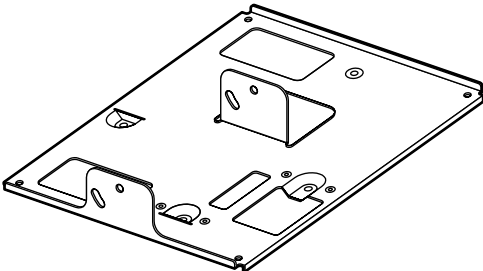
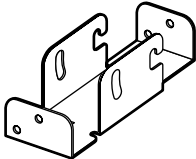



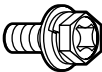
火災の原因となることがあります。

禁止

# 本機の構成

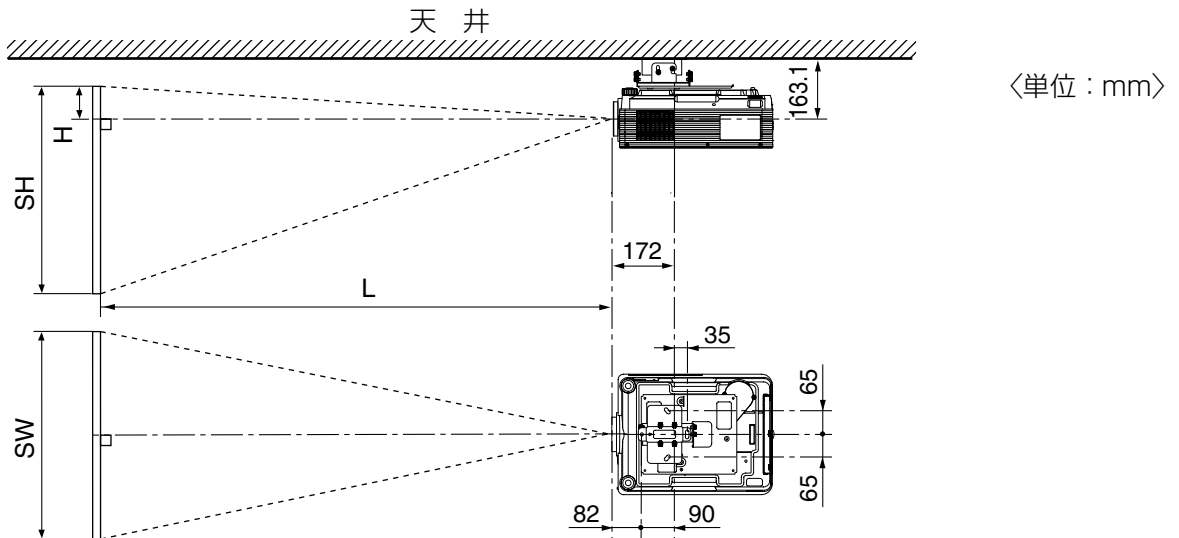
本機はプロジェクターを天井からつり下げて設置する際の金具です

## ■ 構成

品名	外観	使用目的
アタッチプレート		本金具を天井につりボルトを介して取り付けます。取り付け方法にはコンクリートと木造天井の場合の2通りがあります。左右方向の調整機能があります。
プロジェクター取り付け金具		本金具にプロジェクター本体を取り付けます。左右傾きの調整機能があります。
角度調整金具		プロジェクター取り付け金具を取り付けます。前後傾きの調整機能があります。
安全金具		プロジェクターの脱落を防止する金具です。
ねじ・ボルト類	<p>座金組み込みねじ (プロジェクター取り付け金具用) (M4 × 12) 4本</p>  <p>座金組み込みねじ (安全金具用) (M4 × 8) 4本</p>  <p>座金組み込み六角ボルト (M6 × 12) 8本</p> 	金具類をプロジェクターに固定するために使用します。

# 取り付け工事寸法

スクリーンとプロジェクター間の投写関係寸法は下記の通りです。ズームレンズにより投写距離が調整できます。投写画面を確認しながら微調整を行ってください。



〈単位：mm〉

〈単位：mm〉

(SD：インチ、SH、SW、LW、LT、H：メートル)

画面サイズ (4 : 3)			投写距離 (L)		高さ位置 (H)
対角 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	
50	0.76	1.02	1.81	2.40	0~0.38
60	0.91	1.22	2.18	2.89	0~0.46
70	1.07	1.42	2.55	3.38	0~0.53
80	1.22	1.63	2.92	3.87	0~0.61
90	1.37	1.83	3.29	4.36	0~0.69
100	1.52	2.03	3.66	4.85	0~0.76
120	1.83	2.44	4.41	5.83	0~0.91
150	2.29	3.05	5.52	7.30	0~1.14
200	3.05	4.06	7.38	9.75	0~1.52
250	3.81	5.08	9.23	12.20	0~1.91
300	4.57	6.10	11.09	14.65	0~2.29
350	5.33	7.11	12.95	17.10	0~2.67
400	6.10	8.13	14.80	19.55	0~3.05
500	7.62	10.16	18.51	24.45	0~3.81
600	9.14	12.19	22.23	29.35	0~4.57

左記の表以外の投写寸法は下記の計算式で求めることができます。SDの単位はインチです。(1インチ=0.0254 m)

$$LW = 0.03713 \times SD - 0.05067$$

$$LT = 0.049 \times SD - 0.05$$

16 : 9の場合は、下記の計算式で画像幅 (SW) を求めることができます。

$$SW = (SD \times 0.0254) \times 16 \div \sqrt{337}$$

上記で求めたSWよりワイド時の投写距離 (LW)、テレ時の投写距離 (LT) を下記の計算式で求めることができます。

$$LW = 1.827 \times SW - 0.05067$$

$$LT = 2.411 \times SW - 0.05$$

## お知らせ

- 上記表の寸法や計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- ワイド時の投写距離で設置されることをお勧めします。
- 上記寸法は、画面サイズが4 : 3の場合を示しています。SXGA信号を入力して投写した場合、投写画面の左右がブランキングされ、画面サイズが5 : 4で投写されます。
- 別売り投写レンズの投写距離は、プロジェクター本体に付属の取扱説明書をご覧ください。

## お願い

- プロジェクターを積み重ねて使用しないでください。
- 後面の排気口をふさがないように30 cm以上の隙間をあけて設置してください。

# 取り付けかた

4ページの「取り付け工事寸法」をご参照いただき、設置される場所の高さや広さ、建物構造をご確認のうえ、スクリーンとプロジェクターの取り付け位置を決めてください。

## ■ スクリーンの取り付け

設置場所および使用されるスクリーンの種類に合わせて、指定された工事方法でスクリーンを取り付けてください。

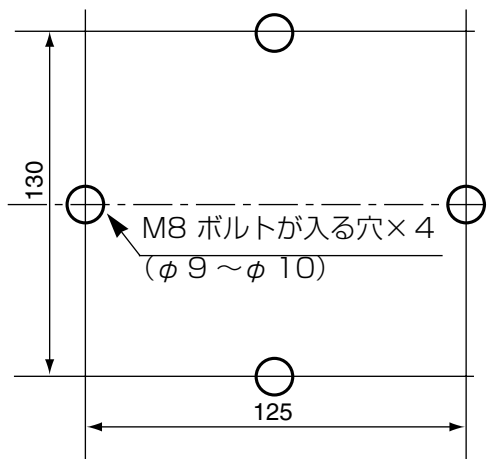
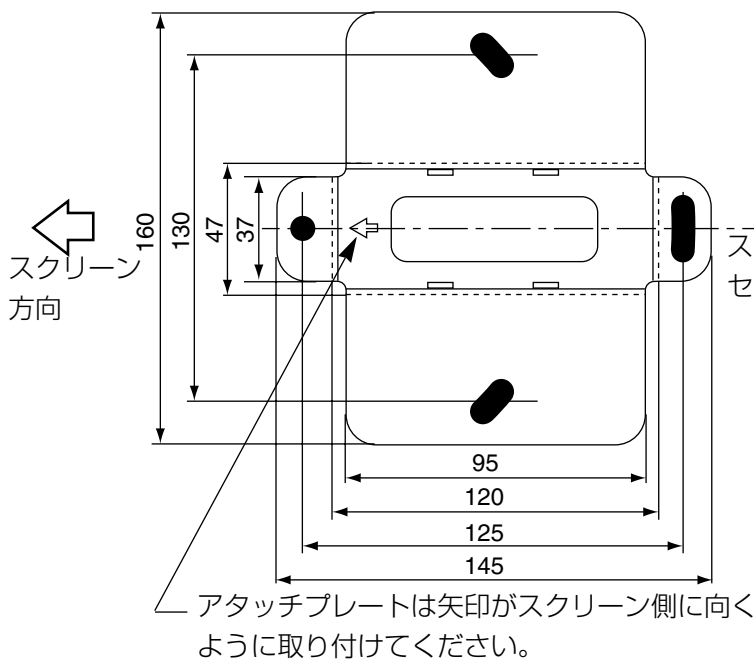
## ■ アタッチプレートの天井への取り付け

アタッチプレート図を参照して、つりボルトの取り付け穴の加工を行ないます。

〈単位：mm〉

〈アタッチプレート図〉

〈つりボルト取り付け穴寸法〉

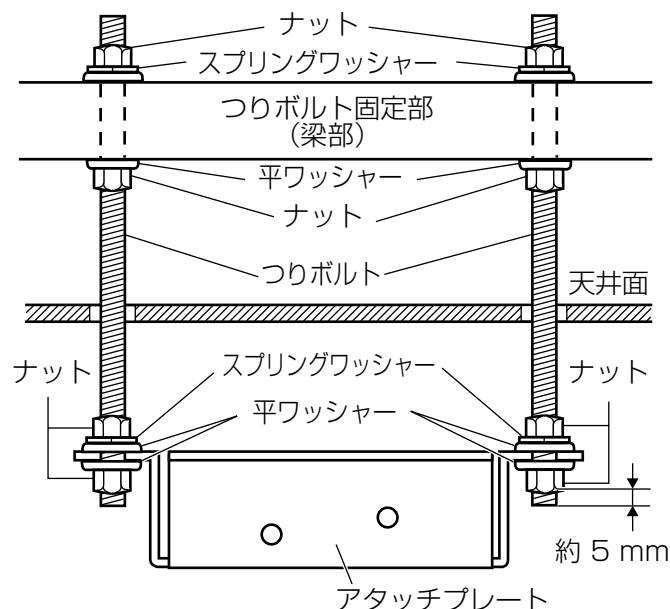


- お願い**
- コンクリートに取り付ける場合の取り付け穴は、埋め込みナットのサイズに合わせてあけてください。
  - つりボルト、六角ナット、平ワッシャー、スプリングワッシャー、埋め込みナットは市販品をお求めください。

### 取り付け例

アタッチプレートの取り付けは、天井がコンクリートまたは木造の場合により、取り付け方法が2通りあります。それぞれの天井に適合した取り付け方法で行ってください。

## ● 取り付け部が木造の場合

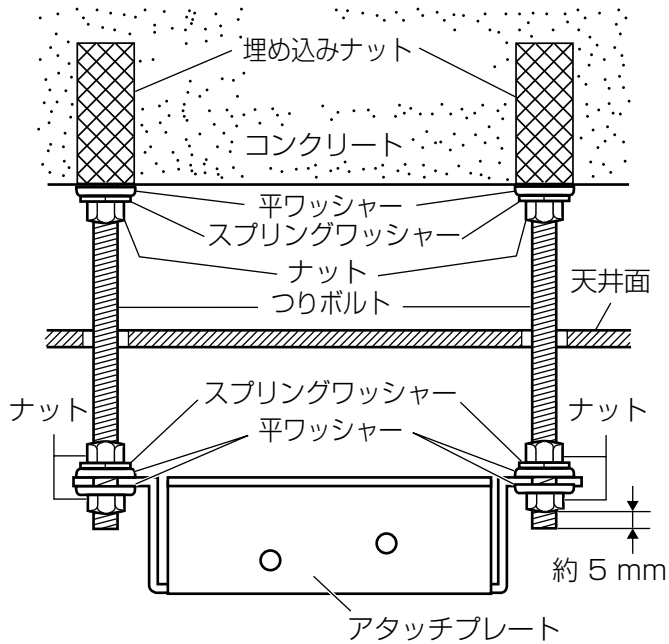


### 手順

- ① 天井面につりボルトの貫通穴をあける。
  - つりボルト取り付け穴寸法と同じ寸法で貫通穴を開けます。(上図を参照ください。)
- ② つりボルトを固定する。
  - つりボルトを保持する場所はプロジェクターの質量に十分耐える強度があることを確認してください。
- ③ アタッチプレートをつりボルトに固定する。
  - つりボルトはナットからボルト先端まで約5mmのとび出しにしてください。アタッチプレート取り付けは平ワッシャーとスプリングワッシャーを必ずご使用ください。

## 取り付け例

### ● 取り付け部がコンクリートの場合



#### 手順

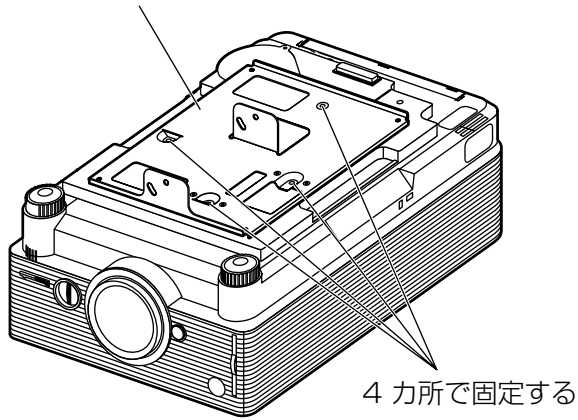
- ① 天井面につりボルトの貫通穴をあける。
  - つりボルト取り付け穴寸法と同じ寸法で貫通穴を開けます。(5 ページを参照ください。)
- ② つりボルトを保持する場所に埋め込みナットを打ち込み、つりボルトを固定する。
  - 埋め込みナットはナットメーカーが指定する作業基準に従い、抜け、ゆるみのないよう、また、位置ずれが発生しないよう、十分に注意して行ってください。
  - コンクリートはプロジェクターの質量に十分耐える強度があることを確認してください。
- ③ アタッチプレートをつりボルトに固定する。
  - つりボルトはナットからボルト先端まで約 5 mm のとび出しにしてください。アタッチプレート取り付けは平ワッシャーとスプリングワッシャーを必ずご使用ください。

## 取り付けかた

### ■ プロジェクターへの金具の取り付け

別売品のプロジェクターへ下記手順で天つり金具の各部品を取り付けます。

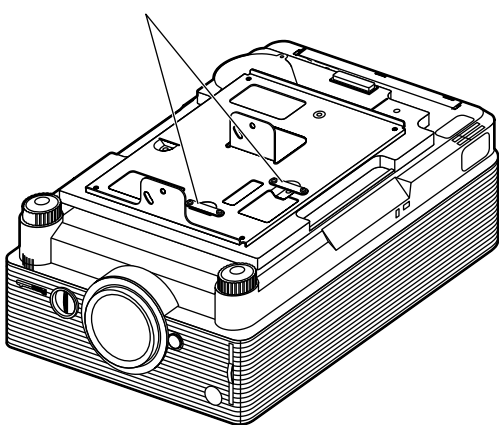
プロジェクター取り付け金具



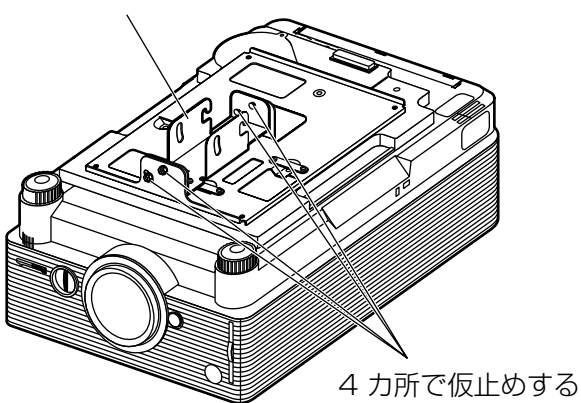
#### 手順

- ① 柔らかい布等の上に、プロジェクターを底面を上にして置く。
- ② プロジェクターの底面に、プロジェクター取り付け金具を付属のねじ(プロジェクター取り付け金具用) 4本で、左図のように固定する。

安全金具

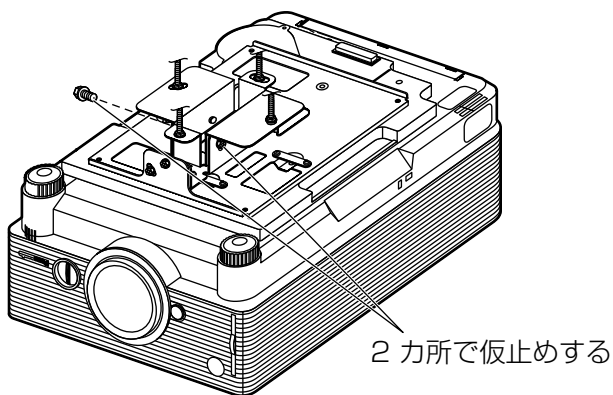
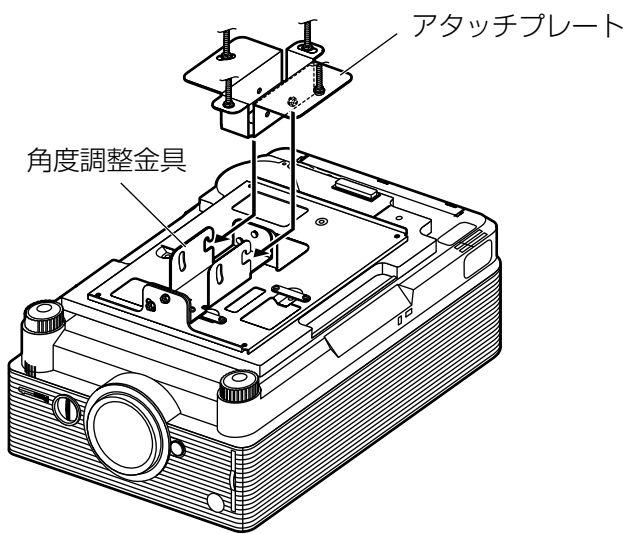
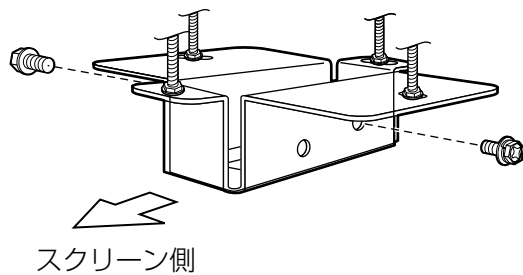


角度調整金具



- ④ プロジェクター取り付け金具に、角度調整金具を、付属の六角ボルト(4本)で仮止めする。

■ プロジェクターのつり下げ



手順

① アタッチプレートの側面にあるねじ穴（スクリーンから遠い側）左右1カ所ずつに付属の六角ボルト2本を仮止めする。

② 手順①で仮止めした六角ボルトに、角度調整金具のL型みぞのくぼみをひっかけてはめ込む。

**お願い** ●アタッチプレートの六角ボルトにL型みぞが、はまり込むまでは、手を離さないでください。

③ 付属の六角ボルトで、左図のようにアタッチプレートと角度調整金具を仮止めする。

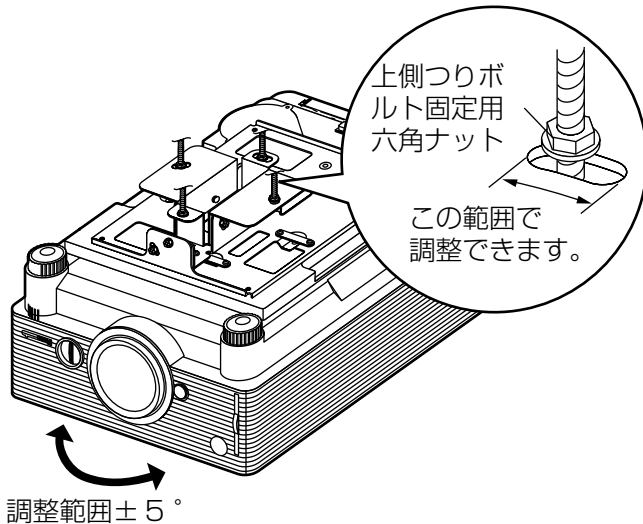
**お願い** ●固定六角ボルトは、プロジェクターが水平になる状態で仮止めしてください。



# 設置角度の調整方法

- 天つり金具には、首振り調整や前後左右の傾き調整機能があります。レンズセンターがスクリーン面と直角になるように調整してください。
- プロジェクターの取扱説明書をご参照のうえ、プロジェクターから映像を投写し、ズームレンズのズームリングやフォーカスリングで画面サイズとフォーカスの仮調整をしてから角度調整を始めてください。

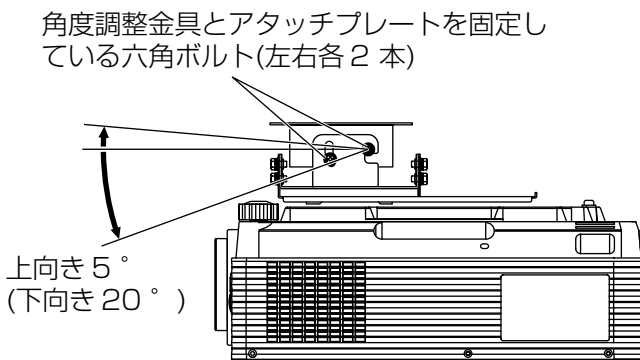
## 投写された映像がスクリーンより左または右にずれている場合の調整



- アタッチプレートの上側つりボルト固定用六角ナット(4カ所)をゆるめ、プロジェクター本体を動かして、スクリーンセンターと映像センターが垂直線上で合うように調整する。

**お願い** ● 調整後、六角ボルトをしっかり締め付けてください。

## 投写された映像がスクリーンより上または下にずれている場合の調整

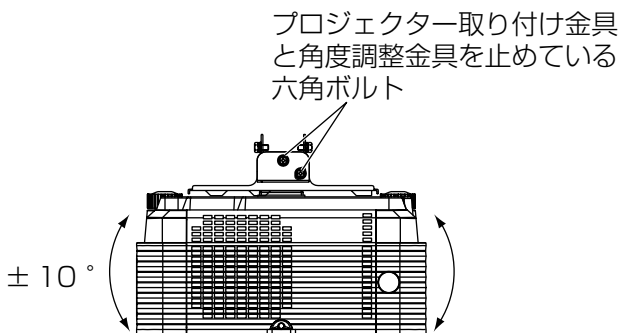


- 角度調整金具とアタッチプレートを固定している六角ボルト(左右各2本)をゆるめ、プロジェクターの前部を上下に動かし、映像位置がスクリーンに合うように調整する。

**お願い** ● 調整後、六角ボルトをしっかり締め付けてください。

- 下向きに調整する場合、プロジェクター後部が天井に当たらないようにご注意ください。

## 投写された映像が右または左に傾いている場合の調整



- プロジェクター取り付け金具と角度調整金具を止めている六角ボルト(前後各2本)をゆるめ、プロジェクターの傾きを直し、映像が傾かない状態に調整する。

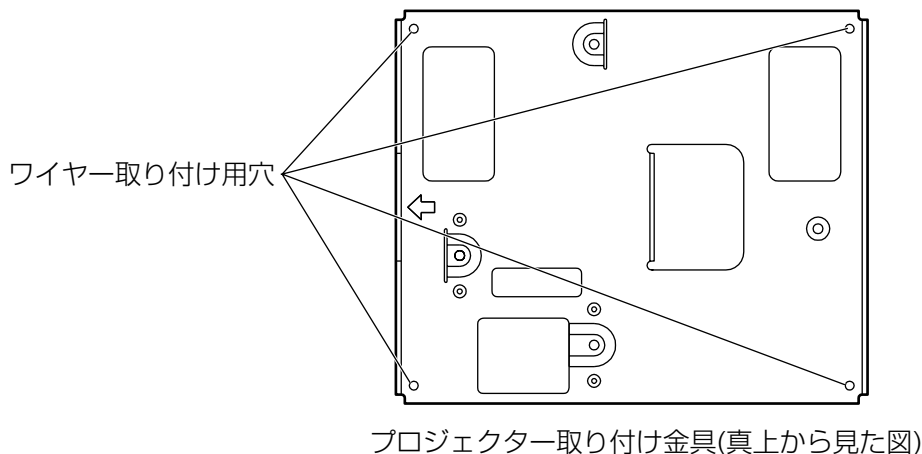
**お願い** ● プロジェクター取り付け金具と角度調整金具を止めている六角ボルトは取り外さないでください。取り外すとプロジェクターが落下する場合があります。

- 映像が傾かない状態で六角ボルトをしっかり締め付けてください。

**お知らせ** ● 設置角度の調整をしても映像が台形歪になっている場合は、スクリーンとプロジェクターの関係位置がずれています。4ページの「取り付け工事寸法」をご参照のうえ、各寸法のチェックを行ってください。またはプロジェクター側で台形補正の設定を行ってください。

# ゆれ防止ワイヤーの取り付けについて

天つり金具と天井間に4方向からワイヤーを張り、ゆれ防止と落下防止策をされることをお勧めします。(ワイヤーは市販品をお求めください。)



## 仕様

調整範囲	高さ(レンズセンター～天井間)	163.1 mm		
	上下傾き補正角度	下向き 20°、上向き 5°		
	左右傾き補正角度	± 10°		
	左右方向補正角度	± 5°		
	組み立て外形寸法	横幅 219 mm	高さ 80 mm	奥行き 271 mm
	質量	1.3 kg		

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06) 6901-1161

© 2005 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

M0705-0

